

自己評価結果公表シート

1 本園の教育目標

幼児期は「遊びがすべて」といわれるように遊びを通して能力が育ち、たくましく生きぬく力がつくられます。本園は心身ともにのびのびと多様なあそびをする事で、人間関係、公正さ、道徳性を学び、可能性を伸ばし人間性が豊かな子どもの育成を目指します。

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 幼稚園から認定こども園への移行に伴う取り組み
 - * 保育の内容・スケジュールの変更
 - * 新たに見直した各種のマニュアルの活用
 - * 事務量増加に対する対応強化
 - * 子育て支援事業の充実
 - * こども園移行に備えて施設の安全面対応
 - * 長時間保育及び休日保育への職員体制
- ③ 防災・防犯・安全教育の強化
 - * 安全についての訓練及び教育の充実
 - * 園環境の変化に対応した避難内容の見直し

3 評価項目の達成及び取組状況

① 平成29年4月に認定こども園に移行の取り組み

評価項目	結果	取組状況とその課題
1) 保育の内容の見直し	4	(1) 今までの幼稚園の教育の内容をなるべく維持し、教育時間後の保育の見直しをした。 <ul style="list-style-type: none"> ① 年間計画の変更 (行事の曜日変更、避難訓練の充実、内容見直し) ② 一日の保育(降園)時間の統一 (月～金曜日及び始園式・終業式の保育時間) ③ 園行事(お泊り保育等)時の預かり実施 ④ 1号園児の全土曜日(長期や休み時除く)の預かり保育実施 (課題) 園児数が増え、働く保護者が増えている事から行事の内容の見直しが必要である。
2) 移行時に見直したマニュアルの活用	3	<ul style="list-style-type: none"> ① アレルギー対応給食マニュアル: (アナフィラキシー発症の可能性がある園児が在園) <ul style="list-style-type: none"> * 園児がアナフィラキシー発症をした想定で、対応訓練を実施 * アレルギー対応園児の給食献立の園・給食室・保護者との連携 * アレルギー対応園児の給食時、おやつ時での席配置等の対応 ② 感染症対応マニュアル: <ul style="list-style-type: none"> * 各感染症に対する対応 (登園の目安、登園許可書、保育室の衛生管理) (課題) アナフィラキシー発症時の訓練を充実させる。

評価項目	結果	取組状況とその課題
3) 事務量増加に対する対応強化	2	<p>認定こども園に移行に伴い、毎月の月次報告・加算申請・・・等経験のない申請業務が多く発生したが、データを園内サーバに保存して複数の人が同時に作成、閲覧する事で効率化を図った。</p> <p>① 事務処理の分担化 ② IT機器の導入 PC増設、園内ネットワーク化、登降園管理システム導入</p> <p>(課題)認定こども園の事務処理について、まだ理解不足であり、今後はいかに理解を深めるのかが課題である。</p>
4) 子育て支援事業の充実 (未就園児クラスの 実施内容及び回数 の充実)	4	<p>① 地域の子育て家庭を対象にした、親子の集いの場としての「こじかクラス」を毎週、季節に応じた内容で開催した。その場で、情報交換と保育教諭に相談できる場とした。 --->内容が好評で多くの親子が毎回参加して頂いた。</p> <p>② 月1回の園庭開放を実施し、毎回多くの親子が来園して、園庭で活発に遊んで頂いた。</p> <p>(課題)「こじかクラス」が好評で毎回すぐに定員なる状況で、回数など検討が必要である。</p>
5) こども園移行に備えて施設の 安全面 の対応	4	<p>① 長時間在園する園児の安全対策を実施 * 園児の転倒時の安全性を考慮した床材のソフト化工事 * 南向きの窓ガラスの赤外線カット工事</p> <p>(課題) 園児数が増えており、施設を安全面からさらなるチェックする必要がある。</p>
6) 長時間保育及び休日保育 への職員体制	3	<p>① 認定こども園に移行した事により、長時間保育及び休日保育を希望する園児が増えたので、保護者の就労及び通院などのやむおえない時のみ延長保育・預り保育を実施する事にした事により、教職員の負担を軽減した。</p> <p>(課題) 働く保護者が増えてきており、教職員の体制を強化(増員)する必要がある。</p>

② 防災・防犯・安全教育

評価項目	結果	取組状況とその課題
1) 園内外での安全についての 訓練及び教育の充実	4	<p>① 避難訓練及び安全絵本での読み聞かせ等、安全保育を行い園児に避難時の注意点を教え、避難時間の軽減が図れた。</p> <p>(課題) 予告なし避難訓練を行い、課題を出す事が必要である。</p>
2) 園環境の変化に対応した 避難内容の見直し	3	<p>園舎改築及び給食室の設置など環境変化に対応して避難内容の見直しをした。</p> <p>* 新たな避難通路による訓練の実施。 * 新たな3階のホールによる避難場所での訓練を実施(津波等)</p> <p>(課題) 改築により新たな危険箇所がないのか検証が必要である。</p>

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
2	認定こども園に移行の初年度であり、移行に伴う保育の内容、計画実施が不十分である。特に、移行により変更になった事務処理が多く、また内容がわからない点が多く今後課題を多く残した。

5	十分に達成できている
4	達成できている
3	取り組んでいる
2	取り組んでいるが、成果が十分でない
1	取り組みが不十分である

5 今後取り組むべき項目

今後のアクション項目	具体的なアクション方法
幼稚園型認定こども園の運営力向上	<p>(1) 長時間・休日保育の充実に向けて保育職員体制強化 --> 保育教諭の増員等</p> <p>(2) 保育管理、申請処理に対してIT化を推進する --> 保育管理ソフトの導入を検討する</p> <p>(3) 平日働いている保護者が増える状況において園行事内容を見直す --> 幼稚園時の内容を維持して対応を検討する</p>
障害児保育の確実な推進	<p>(1) 発達上の問題を抱えた園児が増加しており、その障害の内容は個々に異なる為、心理士先生と相談して個別の指導計画を作成する。</p> <p>(2) 園と保護者との連携して対応する。</p>

6 学校関係者の評価

<p>1) 認定こども園になり、給食も暖かく美味しい物が食べれてこどもは大変喜んでます。下の子が何度か行かせてもらってる『こじかクラス』も毎回予約が取りにくいのが難点ですが、人気だけあって内容も楽しく、特に工作系が家では出来ない事が出来るので、こどもが楽しんでます。こども園になって園児の人数が増えてきたのでPTA活動等の体制を考え直してほしいです。 (年長 保護者)</p> <p>2) 認定こども園になり、年度途中で、預かり保育(1号の園児の月決め)をするのに就労証明が必要となり、少し戸惑いますが、保育の見直しで時間の統一で始園式や終業式も統一していただき働く保護者にとって有り難い見直しです。 (年長 保護者)</p> <p>3) 認定こども園になり、園児の人数が増える事で、今まで少人数だからこそ、目の行き届いたアットホームな淀川幼稚園の良さが無くなるのではと不安に感じています。 そう言った事がないように園長先生はじめ、先生方には温かい保育をお願いします。 (年中 保護者)</p>

6 学校関係者の評価

- 4) 認定こども園移行して、園児が増えてきており、それによる教育・行事の内容の変更を少なく実施してしてください。
預り保育についてはなるべく変更を出来るだけ少なくして対応してください。 (年中 保護者)
- 5) 幼稚園から認定こども園へ移行することで、幼稚園としての要素が無くなってしまわない少し不安でしたが、変更が少なく安心しました。また、働くお母さん方たちにとっては、とても有り難い移行だと思えます。 (年中 保護者)

7 財務状況

当園は毎年度、公認会計士の監査を受けており、適正に運営している。今年度の決算は30年5月になります。従って決算・監査内容の公開は決算の理事会終了後に行う予定です。